



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月5日

上場会社名 株式会社日本触媒 上場取引所 東  
 コード番号 4114 URL <http://www.shokubai.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)五嶋 祐治朗  
 問合せ先責任者 (役職名)総務部長 (氏名)田畑 敦士 TEL (06)6223-9111  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満は四捨五入して表示)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	267,811	10.1	20,768	1.8	26,638	5.8	20,052	7.6
2018年3月期第3四半期	243,177	16.2	20,392	34.3	25,179	37.4	18,634	23.8

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 16,346百万円(△33.1%) 2018年3月期第3四半期 24,426百万円(743.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	502.82	—
2018年3月期第3四半期	467.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	469,234	319,907	67.5	7,946.31
2018年3月期	467,386	310,762	65.7	7,705.05

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 316,881百万円 2018年3月期 307,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	75.00	—	85.00	160.00
2019年3月期	—	80.00	—		
2019年3月期(予想)				80.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	370,000	14.6	26,000	△2.7	32,500	0.6	24,500	0.9	614.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

## (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年3月期3Q	40,800,000株	2018年3月期	40,800,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	922,202株	2018年3月期	920,844株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年3月期3Q	39,878,563株	2018年3月期3Q	39,880,401株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	4
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
（1）四半期連結貸借対照表	6
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
（継続企業の前提に関する注記）	11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	11
（追加情報）	11
（セグメント情報等）	12
（参考情報）	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下、当四半期累計期間）における世界経済は、米国では景気回復が続き、欧州でも緩やかに回復しているものの、中国では持ち直しの動きに足踏みがみられ、アジア新興国では一部に弱い動きがみられました。また、米中の貿易摩擦による影響や原油情勢の動向など、先行きが不透明な状況が続きました。

日本経済は、設備投資が増加し、雇用情勢の着実な改善がみられるなど、景気が緩やかに回復しているなかで推移しました。

化学工業界におきましては、需要が底堅く推移したものの、原料価格の動向など先行きが不透明ななかで推移しました。

## ①全体の状況

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減		前連結会計年度
			(金額)	(伸び率)	
売上高	243,177	267,811	24,633	10.1%	322,801
営業利益	20,392	20,768	376	1.8%	26,727
経常利益	25,179	26,638	1,459	5.8%	32,293
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	18,634	20,052	1,418	7.6%	24,280
1株当たり四半期(当期)純利益	467.25円	502.82円	35.57円	7.6%	608.84円
ROA (総資産経常利益率)	7.5%	7.6%	—	0.1ポイント	7.2%
ROE (自己資本利益率)	8.3%	8.6%	—	0.3ポイント	8.1%
為替(\$、EUR)	\$=¥111.69 EUR=¥128.55	\$=¥111.15 EUR=¥129.47		¥△0.54 ¥0.92	\$=¥110.82 EUR=¥129.70
ナフサ価格	39,900円/kl	52,100円/kl		12,200円/kl	41,900円/kl

(注) 1. 四半期のROA及びROEは、年換算しております。

2. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度のROAについては、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で算定しております。

このような状況のもと、当社グループの当四半期累計期間の売上高は、原料価格や製品海外市況上昇に伴い販売価格を修正したことや、販売数量が増加したことなどにより、前年同四半期連結累計期間（以下、前年同四半期累計期間）に比べて246億3千3百万円増収（10.1%）の2,678億1千1百万円となりました。

利益面につきましては、販売価格よりも原料価格の上がり幅が大きくスプレッドが縮小しましたが、生産・販売数量が増加したことによる数量効果などにより、営業利益は、前年同四半期累計期間に比べて3億7千6百万円増益（1.8%）の207億6千8百万円となりました。

営業外損益は、持分法投資利益の増加などにより、前年同四半期累計期間に比べて10億8千3百万円の増益となりました。その結果、経常利益は前年同四半期累計期間に比べて14億5千9百万円増益（5.8%）の266億3千8百万円となりました。

その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期累計期間に比べて14億1千8百万円増益（7.6%）の200億5千2百万円となりました。

## ②セグメント別の概況

### [基礎化学品事業]

アクリル酸及びアクリル酸エステルは、販売数量は減少しましたが、原料価格や製品海外市況上昇に伴い販売価格を修正したことにより、増収となりました。

酸化エチレンは、原料価格上昇に伴い販売価格を修正したことや、販売数量を増加させたことにより、増収となりました。

エチレングリコールは、製品海外市況上昇に伴い販売価格を修正しましたが、販売数量が減少したことにより、減収となりました。

エタノールアミンは、原料価格上昇に伴い販売価格を修正しましたが、販売数量が減少したことにより、減収となりました。

セカンダリーアルコールエトキシレートは、販売数量を増加させたことや、原料価格上昇に伴い販売価格を修正したことにより、増収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業の売上高は、前年同四半期累計期間に比べて11.3%増加の989億4千6百万円となりました。

営業利益は、製品構成による数量効果がありましたが、販管費が増加したことやスプレッドが縮小したことなどにより、前年同四半期累計期間に比べて3.0%減少の88億7千9百万円となりました。

### [機能性化学品事業]

高吸水性樹脂は、原料価格上昇に伴い販売価格を修正したことに加え、販売数量を増加させたことにより、増収となりました。

コンクリート混和剤用ポリマー、洗剤原料などの水溶性ポリマー、塗料用樹脂、粘着加工品、電子情報材料及びヨウ素化合物は、販売数量を増加させたことにより、増収となりました。

特殊エステルは、販売数量は減少しましたが、原料価格や製品海外市況上昇に伴い販売価格を修正したことにより、増収となりました。

無水マレイン酸は、販売数量は減少しましたが、販売価格を修正したことにより、増収となりました。

エチレンイミン誘導品及び樹脂改質剤は、販売数量が減少したことにより、減収となりました。

以上の結果、機能性化学品事業の売上高は、前年同四半期累計期間に比べて10.4%増加の1,464億9千8百万円となりました。

営業利益は、スプレッドが縮小しましたが、生産・販売数量が増加したことや、販管費が減少したことなどにより、前年同四半期累計期間に比べて0.3%増加の111億6百万円となりました。

### [環境・触媒事業]

自動車触媒は、貴金属価格が上昇しましたが、販売数量が減少したことにより、減収となりました。

燃料電池材料は、販売数量は増加しましたが、販売価格が低下したことにより、減収となりました。

プロセス触媒、脱硝触媒、湿式酸化触媒及びリチウム電池材料は、販売数量が増加したことにより、増収となりました。

排ガス処理触媒は、販売数量が減少したことにより、減収となりました。

以上の結果、環境・触媒事業の売上高は、前年同四半期累計期間に比べて3.6%増加の223億6千7百万円となりました。

営業利益は、販売数量が増加したことや、販管費が減少したことなどにより、前年同四半期累計期間に比べて34.8%増加の5億5千1百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末（以下、前年度末）に比べて18億4千8百万円増加の4,692億3千4百万円となりました。流動資産は、前年度末に比べて20億4千8百万円増加しました。現金及び預金が減少したものの、原料価格上昇に伴う販売価格の修正により受取手形及び売掛金が増加したことなどによるものです。固定資産は、前年度末に比べて2億1百万円減少しました。設備投資により有形固定資産が増加したものの、時価の下落により投資有価証券が減少したことによるものです。

負債は、前年度末に比べて72億9千7百万円減少の1,493億2千7百万円となりました。借入金を返済したことや未払法人税等が減少したことなどによるものです。

純資産は、前年度末に比べて91億4千5百万円増加の3,199億7百万円となりました。その他有価証券評価差額金が減少したものの、利益剰余金が増加したことによるものです。

自己資本比率は、前年度末の65.7%から67.5%へと1.8ポイント増加しました。なお、1株当たり純資産額は、前年度末に比べて241.26円増加の7,946.31円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間（以下、当四半期累計期間）末における現金及び現金同等物は、設備投資等の投資活動によるキャッシュ・フロー及び財務活動によるキャッシュ・フローの支出が、営業活動によるキャッシュ・フローの収入を上回ったため、前連結会計年度末に比べて67億6千4百万円減少の448億4千7百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間（以下、前年同四半期累計期間）の282億9千3百万円の収入に対し、当四半期累計期間は203億3千2百万円の収入となりました。主に前連結会計年度の期末日が金融機関の休日であったため未決済であった仕入債務が、当四半期累計期間に決済されたことなどにより減少したこと及び法人税等の支払額が増加したことにより、前年同四半期累計期間に比べて79億6千1百万円の収入の減少となりました。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の223億2千4百万円の支出に対し、当四半期累計期間は172億7千8百万円の支出となりました。前年同四半期累計期間に比べて有形固定資産の取得による支出が減少したことなどにより、前年同四半期累計期間に比べて50億4千7百万円の支出の減少となりました。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の62億3千万円の支出に対し、当四半期累計期間は100億6千3百万円の支出となりました。長期借入れによる収入が減少したことなどにより、前年同四半期累計期間に比べて38億3千3百万円の支出の増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの通期の業績は2018年11月6日に発表いたしましたとおり、売上高3,700億円、営業利益260億円、経常利益325億円、親会社株主に帰属する当期純利益245億円を見込んでおります。通期の連結業績につきましては、2019年3月期第4四半期の為替レートを110円/米ドル、125円/ユーロとし、ナフサ価格を39,000円/キロリットルの前提としております。

なお、前回発表いたしました報告セグメント別の通期業績予想値は以下の通りであります。

※ご参考：前回発表（2018年11月6日）報告セグメント別業績予想値 (単位：億円)

	基礎化学品事業		機能性化学品事業		環境・触媒事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期予想	1,400	110	2,000	142	300	5

(注) 営業利益について、セグメント別合計と全体との差は、セグメント間取引消去によるものであります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	55,920	48,738
受取手形及び売掛金	78,038	83,523
商品及び製品	31,414	34,265
仕掛品	5,437	5,975
原材料及び貯蔵品	20,163	18,648
その他	7,440	9,311
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	198,403	200,452
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	59,751	96,277
土地	32,609	32,557
建設仮勘定	44,470	5,896
その他（純額）	42,965	49,437
減損損失累計額	△4,553	△4,570
有形固定資産合計	175,241	179,598
無形固定資産		
その他	3,531	3,478
無形固定資産合計	3,531	3,478
投資その他の資産		
投資有価証券	74,707	70,324
その他	15,570	15,445
貸倒引当金	△66	△62
投資その他の資産合計	90,211	85,707
固定資産合計	268,983	268,782
資産合計	467,386	469,234
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,066	55,274
短期借入金	8,244	9,359
1年内返済予定の長期借入金	4,438	12,220
未払法人税等	5,489	1,513
賞与引当金	3,405	1,484
その他の引当金	2,614	3,081
その他	10,378	13,908
流動負債合計	92,636	96,840
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	35,301	23,723
退職給付に係る負債	13,607	13,735
その他	5,081	5,029
固定負債合計	63,989	52,487
負債合計	156,624	149,327



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,038	25,038
資本剰余金	22,400	22,452
利益剰余金	248,158	261,630
自己株式	△6,263	△6,273
株主資本合計	289,334	302,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,786	10,420
繰延ヘッジ損益	3	—
為替換算調整勘定	4,868	4,994
退職給付に係る調整累計額	△1,719	△1,380
その他の包括利益累計額合計	17,937	14,034
非支配株主持分	3,491	3,026
純資産合計	310,762	319,907
負債純資産合計	467,386	469,234

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	243,177	267,811
売上原価	193,200	217,828
売上総利益	49,977	49,982
販売費及び一般管理費	29,585	29,215
営業利益	20,392	20,768
営業外収益		
受取利息	140	205
受取配当金	1,050	1,184
持分法による投資利益	3,249	4,316
受取技術料	340	239
為替差益	123	—
雑収入	1,142	1,321
営業外収益合計	6,042	7,265
営業外費用		
支払利息	318	369
為替差損	—	275
租税公課	193	185
雑損失	744	565
営業外費用合計	1,254	1,395
経常利益	25,179	26,638
特別利益		
投資有価証券売却益	479	—
特別利益合計	479	—
特別損失		
固定資産売却損	—	22
減損損失	272	—
固定資産撤去費	129	—
特別損失合計	401	22
税金等調整前四半期純利益	25,258	26,616
法人税、住民税及び事業税	5,749	4,978
法人税等調整額	830	1,461
法人税等合計	6,579	6,439
四半期純利益	18,679	20,177
非支配株主に帰属する四半期純利益	44	125
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,634	20,052

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	18,679	20,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,792	△4,369
繰延ヘッジ損益	△3	△3
為替換算調整勘定	1,285	907
退職給付に係る調整額	△652	319
持分法適用会社に対する持分相当額	325	△684
その他の包括利益合計	5,748	△3,830
四半期包括利益	24,426	16,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,432	16,149
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	197

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	25,258	26,616
減価償却費	12,795	14,464
固定資産売却損益 (△は益)	—	22
投資有価証券売却損益 (△は益)	△479	—
減損損失	272	—
固定資産撤去費	129	—
受取利息及び受取配当金	△1,189	△1,389
支払利息	318	369
持分法による投資損益 (△は益)	△3,249	△4,316
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,653	△5,147
たな卸資産の増減額 (△は増加)	401	△1,776
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,834	△2,898
未払消費税等の増減額 (△は減少)	647	△166
その他	△161	△691
小計	31,922	25,088
利息及び配当金の受取額	2,996	4,409
利息の支払額	△377	△443
法人税等の支払額	△6,248	△8,723
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,293	20,332
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△23,538	△16,410
投資有価証券の売却による収入	735	27
関係会社株式の取得による支出	△614	△1,111
出資金の回収による収入	730	0
その他	363	216
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,324	△17,278
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,211	751
長期借入れによる収入	8,747	800
長期借入金の返済による支出	△10,169	△4,366
自己株式の取得による支出	△11	△10
配当金の支払額	△5,982	△6,580
非支配株主への配当金の支払額	△2	△9
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△3	△601
その他	△21	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,230	△10,063
現金及び現金同等物に係る換算差額	708	245
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	446	△6,764
現金及び現金同等物の期首残高	51,700	51,612
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,414	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,732	44,847

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒	計		
売上高						
外部顧客への売上高	88,935	132,657	21,586	243,177	—	243,177
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25,628	4,365	1,742	31,736	△31,736	—
計	114,563	137,021	23,329	274,913	△31,736	243,177
セグメント利益	9,150	11,076	409	20,635	△243	20,392

(注) 1. セグメント利益の調整額 △243百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒		
減損損失	—	272	—	—	272

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒	計		
売上高						
外部顧客への売上高	98,946	146,498	22,367	267,811	—	267,811
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,038	5,646	822	36,506	△36,506	—
計	128,984	152,144	23,189	304,317	△36,506	267,811
セグメント利益	8,879	11,106	551	20,535	233	20,768

(注) 1. セグメント利益の調整額 233百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(参考情報)

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	53,440	31,349	21,819	11,727	118,335
連結売上高(百万円)					243,177
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	22.0	12.9	9.0	4.8	48.7

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	63,100	33,331	20,497	15,159	132,088
連結売上高(百万円)					267,811
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	23.5	12.4	7.7	5.7	49.3

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域
- (1) アジア ……………東アジア及び東南アジア諸国
  - (2) 欧州 ……………ヨーロッパ諸国
  - (3) 北米 ……………北アメリカ諸国
  - (4) その他の地域 ……………アジア、欧州、北米及び本邦を除く国又は地域
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計金額であります。